

E

Elementary school



写真上 在校生や父母などが間近で見つめる中、卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました
写真下 本名校長から卒業証書を手渡される上妻悠人さん(中央)



数々の思い出を胸に巣立ち

町内6小学校の卒業証書授与式は3月23日、各小学校で挙行されました。千里小学校(本名幸平校長)では男子12人、女子14人の卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。

東北地方太平洋沖地震の被災者に配慮し、簡素化した卒業式となりましたが、本名校長は「人は助け合ってこそ生きていける。こういう時こそ助け合わなければならない。皆さんは、お父さんやお母さんなど多くの人の生きる希望。幸多かれ、道開かれと願う」と力強いはなむけの言葉を贈りました。

卒業生らが6年間の思い出を振り返った後「皆さんの思い出を胸に抱いて、この校舎を巣立ちます」と別れの言葉を述べると、在校生からは「皆さんが築いた千里小学校の伝統を受け継いで頑張ります。ありがとうございました」とお礼の言葉が贈られました。

N

Nursery school



写真上 小学生になっても、幼年消防隊で学んだことを忘れないでほしいと期待書が手渡されました
写真下 この日満了を迎えた7人の園児たち。それぞれ町内の小学校に進学します

小学校に行っても頑張るぞ

町内3保育所の満了式は3月25日、各保育所で挙行され、猪苗代保育所では男女合わせて7人が通い慣れた園舎にお別れをしました。

榊原源法所長が保育証書を手渡した後「最初は泣きながら登所していた皆さんが、こんなにたくましく成長したことをうれしく思います。大きな地震があった年の満了式を思い出して、社会に貢献できるような大人になってください」とあいさつ。猪苗代消防署の五十嵐聖仁総務係長は「幼年消防隊として学んだ火の用心を忘れず、小学校に行っても頑張ってください」と話し、期待書を手渡しました。

続いて、猪苗代小学校の久米本哲夫校長や主任児童委員の阿部重孝さんらが「小学校では先生、お兄さんやお姉さんが待っています。病気にならないように、元気に過ごして小学校に登校してください」と祝辞を述べました。

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO

J

Junior high school



写真上 在校生、教職員や父母からの大きな拍手の中を退場する卒業生たち。3年間の思い出が頭をよぎり、涙がふれる
写真下 卒業生を代表して力強く答辞を述べた菊地さん



3年間の思い出胸に旅立つ

町内3中学校の卒業証書授与式は3月11日、各校で開かれました。吾妻中学校(矢澤良伸校長)では、24人の卒業生が勉強や部活動に全力で取り組んだ思い出の校舎を後にしました。

矢澤校長は「人は人との関わりの中で生きている。社会の中で人とのつながりを大切にしながら、吾妻中卒業生としての自信と誇りを持って生きていってほしい」と式辞。穴澤周一教育委員の告辞に続き、鈴木幹男副町長、山田長平副議長、齋藤裕二PTA会長らが祝辞を述べました。

在校生代表の神未由華さんが「先輩たちの築いた伝統と実績を引き継ぐとともに、新しい伝統を作っていく」と送辞を述べた後、卒業生代表の菊地公康さんが「進む先は違って僕たちのきずなは永遠。3年間で学んだことと仲間とのきずなを支えにして困難を乗り越えていく」と力強く決意を述べました。

K

Kindergarten



写真上 式の最後、退場する園児を紙吹雪で送る父母ら。「おめでとう」の言葉に、園児も笑顔で答えました
写真下 820人目の卒園児として、後藤園長から修了証書を受け取る渡部鈴穂ちゃん

長瀬幼稚園で最後の卒園式

町内6幼稚園では3月18日、一斉に修了証書授与式が挙行されました。来年から休園となる長瀬幼稚園では、男女合わせて4人が卒園を迎えました。

園児らに修了証書が手渡された後、後藤新一園長が「幼稚園で習ったことを思い出して、楽しい小学校生活を過ごしてください。皆さんが心豊かに成長することを祈っています」と式辞。瀧口直美PTA会長が「小学校では、友だちと仲良く元気に過ごしてください」とお祝いの言葉を贈りました。

同園の卒園児であった渡部孝広さんは「自分が通った幼稚園がなくなってしまうのは、少し寂しい気もしますが、子どもも通園し、無事に卒園できたことはうれしいです」と話しました。

昭和42年の開園から820人の卒園児を送り出してきた長瀬幼稚園。その44年の歴史に幕が下されました。